



still moving

2015.03.07.Sat.-05.10.Sun.

会場 | 元崇仁小学校およびその周辺地域(京都市下京区) / 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

Venues | Former Suujin Elementary School / Suujin Area / Kyoto City University of Arts ART GALLERY @KCUA

石原友明崇仁ゼミ | 井上明彦+二瓶晃 | 小山田徹 | かげうつし | 杉山雅之 | 高橋悟 | 田中和人+増本泰斗 | 谷中佑輔 | 久門剛史 | ヘフナー/ザックス | RAD

主催 | 京都市 / 京都市立芸術大学 共催 | 京都国際現代芸術祭組織委員会 / 京都芸術センター / 京都文化芸術コア・ネットワーク 助成 | 平成 26 年度文化庁 優れた現代美術の海外発信促進事業 / 公益財団法人野村財団  
協力 | 東山アーティスト・プレースメント・サービス (HAPS) 協賛 | 株式会社資生堂 / ターナー色彩株式会社 \*HAPS 事務局 PARASOPHIA @KCUA 虎文化庁 SHI/EIDO HAPS

# INTRODUCTION EVENTS

10年以内の近い将来、京都市立芸術大学が、京都駅にほど近い「崇仁(すうじん)地域」に移転する計画が進んでいます。この地域は、京都駅から徒歩数分という好立地に加え、地域内に流れる高瀬川と鴨川、東山を望む素晴らしい眺望という豊かな自然景観に恵まれ、地域の歴史を示す資料館や小学校、史蹟などの地域資源が多く残っています。しかしその一方、人口減少や高齢化の急速な進行に伴う危機的状況の中、地域活力の再生の必要に迫られています。そういった背景から、京都市立芸術大学の移転は、新しい「まちづくり」の核としても重要な役割を担っているのです。本展は、京都市立芸術大学の「移動」を契機として、国内外のアーティストが集い、この地域に入っていき「第一歩」となります。多面的に社会が国際化し、個々の文化への意識はますます高まりを見せる中で、日常の様々な場面で越境・移動を実感せざるを得ない現代。優れた伝統を継承しながら常に新しい芸術文化を生み育んできた京都で、国際的な芸術文化都市とは何か、また大学と地域のあり方を探る本展を通して、まちの再生を余儀なくされているこの「崇仁地域」に何が起こるのか、リアルタイムで感じるようになるはずです。ぜひ皆さんの目で見届けてください。

## ARTISTS

石原友明崇仁ゼミ

井上明彦十二瓶晃

小山田徹

かげうつし

杉山雅之

高橋悟

田中和人+増本泰斗

谷中佑輔

久門剛史

ヘフナー / ザックス

RAD-Research for Architectural Domain-

会期中の毎週土曜日(4/4, 11, 18, 25, 5/2, 9) 12:00~終了時刻未定

小山田徹「ウィークエンドカフェ」

崇仁地域の屋外に展覧会会期中の週末だけオープンするカフェ。どなたでもご自由にご参加いただけます。stillmovingやPARASOPHIAの出展アーティストあるいは京都市立芸術大学の学長と仲良くなれるかも? |会場:高倉通塩小路通交差点の南東角

4/4(土) 14:00~15:30

「水のみちをたどる: Tracing Suujinフィールドワーク」

崇仁小学校から平成の京町家モデル住宅展示場KYOMOまで、高瀬川の跡をたどりながら、地域への新しい視点を発見・創造する試みです。|集合場所:元崇仁小学校|特別講師:山内政夫氏(柳原銀行記念資料館事務局長・崇仁まちづくり推進委員会事務局長)

4/5(日) ①15:30~16:00 / ②16:30~17:00 / ③18:00~18:30

「謡と小鼓でたのしむ春の崇仁」

平宗盛の邸は、現在の八条高倉付近、つまり崇仁地域にあったそうです。宗盛と、彼が寵愛する遊女の熊野(ゆや)にまつわる謡曲「熊野(ゆや)」は、春の京都、崇仁から清水寺を舞台とするものです。満開予想週の週末に、still movingの展示空間の中、また夕方にはライトアップされた正面玄関の桜の木の下で花を愛でながら、謡と小鼓による崇仁ゆかりの謡曲「熊野(ゆや)」をお楽しみください。|会場:元崇仁小学校①②2F和室/③正面玄関横(雨天の場合は和室)|出演:田茂井廣道、河村浩太郎(シテ方観世流能楽師)、曾和尚靖(幸流小鼓方)

4/12(日) 14:00~16:00 ※30分前より参加受付を開始いたします。

「小学校でふくらむワタシとアナタ」

美術作家の東明(京都市立芸術大学卒業生)を講師に、膨らむ服の作品「パラフック」の体験ワークショップを開催します。閉校した元崇仁小学校の教室に笑い声を再び!親子での参加も歓迎です。|会場:元崇仁小学校|対象:子どもから大人までどなたでも

4/26(日) 17:00~17:30

久門剛史×建畠哲 ポエトリリーディングライブ「言葉と明滅」

音と現象によってサウンドインスタレーションを作り出す出展アーティストの久門剛史(市立芸大卒業生)が、元京都市立芸術大学学長(平成27年3月まで)で詩人の建畠哲とライブを行います。|会場:元崇仁小学校

ご参加方法|当日会場まで直接お越しください。

ご注意|出演者は予告なく変更になる可能性があります。ご了承ください。なお、天候や諸般の事情により、プログラム内容が予告なく変更する場合がございます。

開館日時|2015年3月7日(土)-5月10日(日) 入場|無料 お問い合わせ|京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA TEL:075-253-1509

会場	展示時間	開館/閉館情報
元崇仁小学校 (京都市下京区川端町16)	12:00-18:00 (最終入場 17:30まで)	期間中の金・土・日・祝、4/30(木)
崇仁地域周辺(京都市下京区)	終日	会期中無休 ※ただしWeekend cafeは毎週土曜日の12:00-21:00まで
京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA (京都市中京区押油小路町238-1)	11:00-19:00 (最終入場 18:30まで)	毎週月曜閉館 ※5/4(月)は開館、5/7(木)を閉館

元崇仁小学校およびその周辺 アクセス|JR京都駅中央口/地下鉄京都駅より塩小路通を東に徒歩10分

